

事務事業名		みんなの元気な森づくり支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					担当	担当部	市民生活部	担当課	環境政策課
	政策	3 環境にやさしいまちづくり					組織	担当係	環境政策係	担当課長名	川俣 浩
	施策	2 良好な生活環境と豊かな自然環境の保全					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 自然保護活動の充実と環境学習の推進					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	7729	一般	4	1	5	みんなの元気な森づくり支援事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		国県補助事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	H21年度～H29年度		根拠法令 条例等	とちぎの元気な森づくり県民 税条例		実施方法		直営	
	事業区分		リーディングプロジェクト		該当なし		事業分類		講座・教室・イベント等開催事業		
	市長マニフェスト		該当なし								

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成28年度実績(平成28年度に行った主な活動内容)					
とちぎの元気な森づくり県民税事業に位置付けられた「森を育む人づくり事業」で、市民やボランティアを対象とした森づくり活動を支援するものである。 本市では、市民に森の大切さや森の現状を理解してもらい、新たな森づくり活動を推進する事業を行っている。		森づくり活動の実施 東京農工大学演習林を会場に、自然観察会や野外体験活動の開催 ・イーゼルづくり ・きのこの模型作り ・舟型編み細工(木の枝を使ったかごづくり)					
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
森づくり活動の実施回数		回	4	4	3	3	3

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市民	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
	人口	人	123,182	122,582	121,522	120,683	120,018

目的 ③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

市民やボランティアを対象とした、森づくり活動や森に親しむ活動を行い、森林の大切さを理解する。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
	活動に参加した人数	人	65	57	40	43	60

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

自然環境を大切にしている心が育成されている。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
	自然保護活動ボランティア数	人	2,637	2,647	2,502	2,521	2,700

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)		
	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円	352	342	372	334	400		
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円							
	事業費計(A)	千円	352	342	372	334	400		
	事業費の内訳	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
		8-1 報償金	325	8-1 報償金	325	8-1 報償金	315	8-1 報償金	335
		11-1 消耗品費	23	11-1 消耗品費	13	11-1 消耗品費	54	11-1 消耗品費	57
12-15 傷害保険料		4	12-15 傷害保険料	4	12-15 傷害保険料	3	12-15 傷害保険料	8	
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2		
	のべ業務時間	時間	80	80	80	80	80		
	人件費計(B)	千円	311	315	312	307	307		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	663	657	684	641	707		

事務事業名	みんなの元気な森づくり支援事業	担当部	市民生活部	担当課	環境政策課	担当係	環境政策係
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成20年度に「とちぎの元気な森づくり県民税」が導入されたことから、市民一人ひとりが荒廃した森の現状や森の大切さを理解し、新たな森づくり活動に取り組むため、本市は平成21年度から開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	水源の涵養、土砂流出の防止、Co2吸収源など、森林の有する多面的な機能が評価されている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	森づくり活動に参加した人からは、有意義な活動だったので、また参加したいとの感想が多く寄せられた。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	参加者に興味を持ってもらえそうな題材を選び、事業を行った。
事業統合・連携	県の補助事業が今後継続されれば平成30年度から事業の統合を行う。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 市民を対象とした自然観察会や野外体験活動を実施することは、自然保護活動の推進に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 とちぎの元気な森づくり県民税事業の中の「森を育む人づくり事業」において、市町が実施主体となり、市民やボランティアによる森づくり活動を実施するものである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 市民やボランティアを対象として森づくり活動を行う事業であり、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案 森林観察会の内容を工夫し、多くの人に森づくり活動に興味をもってもらえることができれば、成果向上の余地がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業があり統合・連携できる・している	理由・改善案 類似事務事業名 森林環境学習支援事業 「とちぎの元気な森づくり県民税」を活用した事業であり、統合は可能である。 *類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 必要最小限の事業費と人件費で実施している。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 森林の大切さを啓発する事業であり、受益者を特定できない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
		県の事業が終了すれば、終了することができる。

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1)今後の事務事業の方向性		(2)改革・改善による期待効果	(3)改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策													
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	事業統合・連携	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。	・東京農工大学の演習林を会場にしているため、観察会の内容については大学側の意向を踏まえて調整する必要がある。													
*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)		コスト														
①森林観察会の内容を工夫する。 ②森林環境学習支援事業と事業統合できる。		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>②</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			削減	維持	増加	成果	向上	①		維持	②	×	低下	×
	削減	維持	増加													
成果	向上	①														
	維持	②	×													
	低下	×	×													